

2026年5月7日

各 位

会 社 名 株式会社エー・ピーホールディングス
 代表者名 代表取締役会長 兼 社長 米山 久
 (コード: 3175)
 問合せ先 経営企画・IR室 室長 坂上 輝瑛
 (TEL. 03-6435-8440)

2026年3月期通期連結業績予想の修正（上方修正）に関するお知らせ

当社は、2025年5月15日に公表いたしました2026年3月期の通期業績予想を下記の通りお知らせいたします。

記

業績予想の修正について

1. 2026年3月期（2025年4月1日～2026年3月31日）通期連結業績予想数値の修正

(単位: 百万円)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に帰属する 当期純利益 または当期純損失(△) | 1株当たり 当期純利益 |
|----------------------------|--------|------|------|------------------------------------|----------------|
| 前回発表予想 (A) | 20,000 | 480 | 380 | 650 | — |
| 今回修正予想 (B) | 21,800 | 840 | 720 | 1,080 | — |
| 増減額 (B - A) | 1,800 | 360 | 340 | 430 | — |
| 増減率 (%) | 9.0 | 75.0 | 89.5 | 66.2 | — |
| (ご参考) 前期連結実績 (2025年3月期) | 21,072 | 263 | 253 | △36 | — |

(注) 2026年3月期連結業績予想の1株当たり当期純利益については、親会社株主に帰属する当期純利益から控除するA種・B種種類株式に係る配当金額が未定のため、当該配当金を控除後の金額は算出しておりません。

2. 修正の理由

2026年3月期の連結業績につきましては、国内外食事業において既存店を重視した運営が奏功し、年末年始の需要獲得に向けた予約施策の強化が計画を上回る成果を上げるなど、収益拡大を力強く牽引いたしました。

併せて、不採算であった香港事業においても事業構造の再構築や経営体制の刷新を通じた再生が着実に進展し、単月黒字化を実現いたしました。これらに加え、人員配置の適正化や徹底したコスト削減により収益構造が改善し、2期連続の連結営業黒字を実現する見込みとなりました。

また、連結子会社である株式会社リアルティストの全株式を株式会社FS. shakeへ譲渡したことに伴い、約438百万円の関係会社株式売却益を特別利益として計上いたしました。

なお、第3四半期終了時点において、国内外食事業を中心に業績が計画を上回る推移を示していたことは事実であります。しかしながら、第4四半期において、店舗の改修・退店に伴う原状回復費用や設備の除却損、減損損失の計上の可能性、また海外事業における構造改革の最終的なコスト確定など、期末に向けて損益に影響を与える不確定要素が複数残存しておりました。これらの要素が確定しないまま業績予想を修正することは、投資家の皆様に対して不正確な情報をお伝えするリスクがあると判断し、上方修正の公表タイミングについて検討し

ておりましたが、期末実績の精査および諸費用の確定に伴い、合理的な算出が可能となったことから、決算発表に先立ち本修正をお知らせすることといたしました。

※業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以上